

第6節 プラットフォームの動向

1 市場動向

ICT関連市場における主要プレイヤーを時価総額に基づいて、2024年3月時点と2025年3月時点を比較すると、AppleがMicrosoftを抜き首位となった。引き続き米国GAFAMが上位となっている中、好調な業績に加えて生成AI向けの半導体需要拡大が好感され、NVIDIAが2位に浮上している。2024年は11位だったSamsung Electronics（韓国）は15位圏外となり、その一方でメディア・ソフトウェア関連企業が株式市場での評価を向上させている（図表Ⅱ-1-6-1）。

図表Ⅱ-1-6-1 世界のICT市場における時価総額上位15社の変遷

| 2024年 | | | | 2025年 | | | |
|------------------------------------|----------------|------|------------|--------------------------------------|----------------|------|------------|
| 社名 | 主な業態 | 国・地域 | 時価総額 (億ドル) | 社名 | 主な業態 | 国・地域 | 時価総額 (億ドル) |
| Microsoft | クラウドサービス | 米国 | 31,420 | ↑ Apple | ハード、ソフト、サービス | 米国 | 33,610 |
| Apple | ハード、ソフト、サービス | 米国 | 26,380 | ↑ NVIDIA | 半導体 | 米国 | 29,450 |
| NVIDIA | 半導体 | 米国 | 23,750 | ↓ Microsoft | クラウドサービス | 米国 | 29,380 |
| Amazon.com | クラウドサービス、eコマース | 米国 | 18,670 | Amazon.com | クラウドサービス、eコマース | 米国 | 21,800 |
| Alphabet/Google | 検索エンジン | 米国 | 18,660 | Alphabet/Google | 検索エンジン | 米国 | 20,790 |
| Meta Platforms/Facebook | SNS | 米国 | 12,820 | Meta Platforms/Facebook | SNS | 米国 | 15,870 |
| Taiwan Semiconductor Manufacturing | 半導体 | 台湾 | 6,350 | ↑ Broadcom | ハード、半導体 | 米国 | 8,850 |
| Broadcom | ハード、半導体 | 米国 | 6,260 | ↓ Taiwan Semiconductor Manufacturing | 半導体 | 台湾 | 7,760 |
| Visa | 決済 | 米国 | 5,650 | Visa | 決済 | 米国 | 6,730 |
| Mastercard | 決済 | 米国 | 4,440 | ↑ Tencent | SNS | 中国 | 5,860 |
| Samsung Electronics | ハード | 韓国 | 3,960 | ↓ Mastercard | 決済 | 米国 | 4,970 |
| Oracle | クラウドサービス | 米国 | 3,470 | Oracle | クラウドサービス | 米国 | 4,320 |
| Tencent | SNS | 中国 | 3,440 | new Netflix | メディア | 米国 | 4,270 |
| Salesforce | クラウドサービス | 米国 | 2,970 | new SAP | ソフト | ドイツ | 3,270 |
| Advanced Micro Devices (AMD) | 半導体 | 米国 | 2,890 | new Alibaba | eコマース | 中国 | 3,150 |

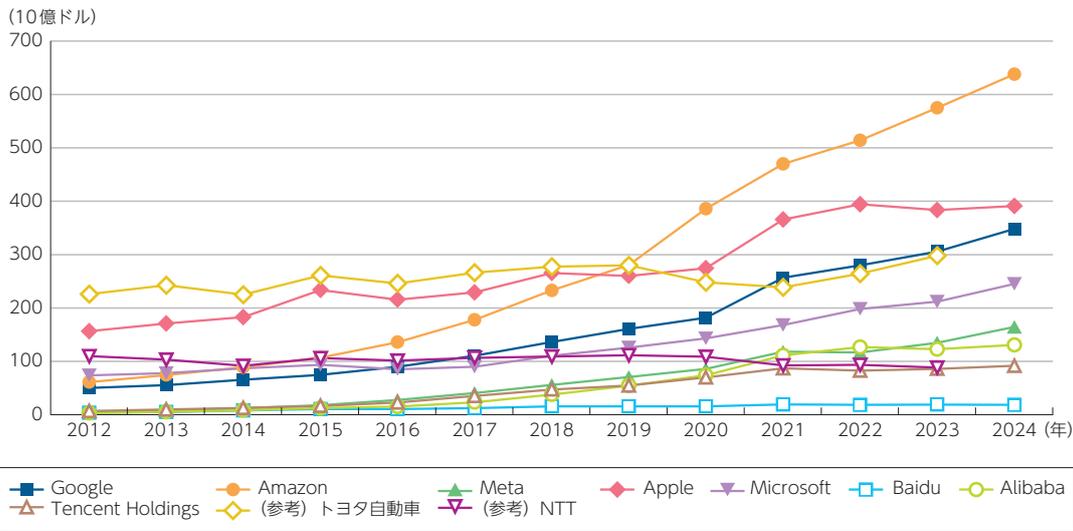
※ 2024年は2024年3月27日時点、2025年は2025年3月27日時点

(出典) Wright Investors' Service, Incより取得*1

世界を代表する米中の主なプラットフォーム事業者の売上高の推移をみると、多くの企業は引き続き売上高が拡大しているものの、AppleやAlibaba、Baiduは伸び悩みがみられる（図表Ⅱ-1-6-2）。

*1 <https://www.corporateinformation.com/#/tophundred>

図表 II-1-6-2 米中のプラットフォーム事業者の売上高の推移



※ 日本企業、中国企業については、各年の平均レートを用いてドルに変換している。また、日本企業については年度の決算値を用いている。

(出典) Statista データ、各社決算情報を基に作成

2 主要なプラットフォーム事業者の動向

米中の主要なプラットフォーム事業者は、それぞれの強みを活かし、生成AIを活用したサービスの強化を図っている。特に生成AIに関する開発については、複数のプラットフォーム事業者が力を入れており、今後様々な場面で生成AIが活用されることが見込まれる (図表 II-1-6-3)。

図表 II-1-6-3 米中の主要なプラットフォーム事業者の動向

<米国>

| 主要分野 | 企業 | 事業概括・領域 | 新たに注力している分野・ビジネス |
|---------|-------------------|---|---|
| 広告・検索 | Alphabet (Google) | 世界最大の検索エンジンサービスを提供しており、検索広告を中心にクラウド、端末など巨大な経済圏を展開 | 生成AIを活用した検索エンジンサービスの強化を図っている他、ロボットなど物理世界におけるAI活用もこれから注力していくものとみられる。 |
| 電子商取引 | Amazon | 世界最大級のeコマース事業者で、クラウドサービス(AWS)を中心に巨大な経済圏を展開 | AWSでの生成AI関連サービスの他、独自の生成AIモデルも発表しており、生成AI関連の取組を強化している。 |
| SNS・アプリ | Meta (Facebook) | 世界最大級のSNSサービスを提供しており、2021年に社名をメタ・プラットフォームズに変更し、メタバース事業への取組を推進 | 生成AIアシスタントの「Meta AI」と大規模言語モデルの「Llama」の開発に注力するとともに、データセンターや海底ケーブルといったAIインフラにも注力している。 |
| 通信機器・端末 | Apple | 世界最大のネット・デジタル家電の製造小売であり、iPhoneなどの端末を核とした巨大な経済圏を展開 | iPhoneを中核に据えたビジネスを拡大しており、小規模言語モデル (SLM) を用いたオンデバイス生成AIに注力している。 |
| 端末・クラウド | Microsoft | 世界最大級のソフトウェアベンダーであり、WindowsやOfficeなどのソフトウェアやクラウドサービスを中心に巨大な経済圏を展開 | OpenAI社と連携した生成AIの活用に向けて力を入れている中、業務ソフト用の生成AIモデルは自社で開発することを表明しており、今後の動向が注目される。 |

<中国>

| 主要分野 | 企業 | 事業概括・領域 | 新たに注力している分野・ビジネス |
|---------|---------|---|---|
| 広告・検索 | Baidu | 中国最大の検索エンジン事業者で、検索サービスで得られた豊富なデータでAIの技術開発を進め、様々な業界との連携に注力し、自動運転にも事業展開 | 生成AIサービス「文心一言」を公開し、2024年11月にユーザー数4.3億で国内LLM利用率1位。AI AgentBuilderも提供するなどAI事業に注力している。 |
| 電子商取引 | Alibaba | 世界最大の流通総額を持つeコマース事業者で、データテクノロジーを駆使し、マーケティングから物流、決済に至るまでのサービスを提供し、クラウドにも展開 | AI駆動事業戦略を推進しており、AIインフラへの投資を増やし、産業向けLLMに注力するほか、企業のDX向けAI Agentにも注力している。 |
| SNS・アプリ | Tencent | 中国最大のSNSアプリプラットフォームで、「WeChat」を基盤に決済、ゲーム等を提供し、巨大なデジタルエコシステムを構築 | 2024年にAIチームを再編し、自社AIモデル「混元」の研究開発に注力するとともに、DeepSeekなど他社モデルも自社SNSに導入し、使いやすさを向上させている。 |
| 通信機器・端末 | Huawei | 世界的な通信機器ベンダーで、ICTインフラ、デバイス、クラウドサービス、デジタルエネルギー、自動車ソリューションなどの事業を展開 | 2024年に世界初三つ折りスマートフォンを発売し注目を集め、引き続きデバイス事業に注力するとともに、黒字化した自動車事業とエネルギー事業にも注力している。 |

(出典) 各社公表資料を基に作成

関連データ 米中の主要プラットフォームの事業別売上高

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00236> (データ集)

